

ホワイトカラーの現場も変革 トップダウンで展開する「5S」

皆

さんがご存じの「5S」。整理・整頓・清潔・清掃・躰。生産現場の改善運動ですが、ホワイトカラーの現場も劇的に変革できる、と説くのが『これだけ! 5S』。

5Sのそれぞれについて、考え方、実践方法、そして継続方法を丹念に紹介しています。特に継続の大切さを訴え、トップダウンによる展開が重要だと強調します。一人ひとりが5Sを身につけて業績はV字回復。わかりやすく、も

う一度読みたくなりました。

私の職場でも、経営改善の取り組みは途切れることがあります。が、そもそも改善すべきこと、特にコスト削減を進めるとき「コスト」とは何なのか。こんな疑問に答えてくれるのが『世界一わかりやすいコスト削減の授業』です。著者は、コストの代表格である3K（交通費・交際費・広告費）や人件費を削ればよいと考えるのは間違い、と言います。着目すべきは、人の動きの「ムダ」。動き



『これだけ! 5S
会社の空気が一変する
仕事の基本5か条』
川原慎也、響城れい 著
(すばる舎リンケージ 1500円)



『世界一わかりやすい
コスト削減の授業』
若井吉樹 著
(サンマーク出版 1400円)



『サッカーデイズ』
杉江由次 著
(白水社 1600円)

選・評
真田 泉

八重洲ブックセンター八重洲本店
販売課リーダー

を見直し、助け合える仕組みをつくり、1人当たり利益率の向上を目指す。現場のモチベーション向上こそコスト削減の神髄でした。ビジネス書ではないのにビジネス

ス書売り場で、よく売れる本があります。『サッカーデイズ』もそんな1冊。本の雑誌社の名物営業マンが、娘のサッカーチームのコーチを引き受け悪戦苦闘。その中で初めて知った親の思いや、青春時代の屈折などが率直に吐露され、泣きどころ満載です。どんな心構えで家族や仕事に向き合うべきなのか。ビジネス書を読む前に読んでほしいと感じる好著です。(談)

知を磨く読書 第19回 作家・元外務省主任分析官 佐藤 優

歴史は国際情勢を読み解く知的武器

歴史に人間の英知が凝縮されていることを実感させる優れた本だ。しかも、現在進行中の国際情勢を読み解く上での知的「武器」になる。例えば、シリア情勢についてだ。〈シリア危機が歴史上で特異なのは、国防軍として国民の生命と財産を守るべき軍が、人口の一二%足らずのイスラーム教アラウィー派に依拠したアサド家中心の権力構造を維持する“私兵”と化していることだ〉。シリア政府軍は、こういう私兵集団なのだから、非アラウィー派のシリア人に化学兵器を使用することをちゅうちょしない。

また、今回、シリアに対する米国の攻撃に関して、イスラエルが慎重な理由について、〈イスラエルにとってアサド体制は「最愛の敵」ともいふべき存在である。四十年以上にわたり軍事的に衝突しなかったシリアは、イスラエルと平和条約を結びながら体制の変革と民主化要求で揺れるエジプトやヨルダンよりも安心できる存在なのだ〉と記す。山内昌之氏のインテリジェンスの高さがわかる。



『歴史という武器』
山内昌之 著
(文藝春秋 1600円)